



ライプチヒ大学スポーツ科学部 & コレスポの共同企画

KoLeSpo

第2回 トレーニング科学国際集中講座 *in Japan*

ドイツ・ライプチヒ学派のコーディネーション理論とその方法

期 間：2011年11月25日(金)13:30 ~ 27日(日)12:30

会 場：帝京平成大学・池袋キャンパス / 参加定員：50名様 (先着申し込み順)

受講料：一般48,500円 / 学生38,500円 *集中講座in Leipzig修了者30,000円

講座参考資料集つき / 通訳つき (ドイツ語 ⇄ 日本語)

申し込み/お問い合わせは、コレスポのホームページをご覧ください <http://www.kolespo.net>

Dr. Christian Hartmann (C. ハルトマン) : 50年におよぶライプチヒ学派のコーディネーション研究の伝統的な継承者。その他、スポーツ動作診断学や発育発達学、両側性の研究など。同大学スポーツ科学部教授。



およぶライプチヒ学派のコーディネーション研究の伝統的な継承者。その他、スポーツ動作診断学や発育発達学、両側性の研究など。同大学スポーツ科学部教授。

Dr. habil. Harald Polster (H. ポルスター) : コーディネーション理論を基礎にしたトレーニングやサイコモータートレーニングの理論を導き、独自の理論と研究にもとづく指導(とくにリージュ競技)を展開。元一橋大学客員教授。



コーディネーション理論を基礎にしたトレーニングやサイコモータートレーニングの理論を導き、独自の理論と研究にもとづく指導(とくにリージュ競技)を展開。元一橋大学客員教授。

Dr. habil. Gerald Voss (G. フォス) : 30年強におよぶスピード研究の実績にもとづき、独自のスピード理論を展開。自ら陸上競技クラブを率い、多くのタレントを育成。スピード・トレーニング & 計測器具の開発。ドイツ陸連コーチ養成やIOC大陸別スポーツ科学会議などで講師活動。



30年強におよぶスピード研究の実績にもとづき、独自のスピード理論を展開。自ら陸上競技クラブを率い、多くのタレントを育成。スピード・トレーニング & 計測器具の開発。ドイツ陸連コーチ養成やIOC大陸別スポーツ科学会議などで講師活動。

| | | | |
|----------|-------------|--|------------------------|
| 11/25(金) | 12:40-13:30 | 受付 | |
| | 13:30-14:00 | 開会 / 事務連絡等 | |
| | 14:00-15:15 | 講義(基礎編): 相関関係でみるコーディネーション&コンディショニング&スキル&タクティクス | 講師; Dr.Hartmann |
| 11/26(土) | 15:30-16:45 | 講義(基礎編): ジュニア期におけるスピードトレーニングの重要性とその方法 | 講師; Dr.Voss |
| | 17:00-18:15 | 講義(基礎編): 競技スポーツにおけるリスク想定トレーニングについて | 講師; Dr.Polster |
| | 09:30-10:45 | 講義(応用編): トレーニング法としての両側性とコントラスト法 | 講師; Dr.Hartmann |
| 11/27(日) | 11:00-12:15 | 講義(応用編): エレメンタルスピードの診断とそのパフォーマンスへの転換法 | 講師; Dr.Voss |
| | 13:40-14:55 | 実践レポート1: 具体例の成果と問題点 *コーディネーション他 | コメンテータ; Dr.Hartmann |
| | 15:10-16:25 | 実践レポート2: 具体例の成果と問題点 *スピード他 | コメンテータ; Dr.Voss |
| 11/27(日) | 16:40-17:55 | 実践レポート3: 具体例の成果と問題点 *コーディネーション他 | コメンテータ; Dr.Polster |
| | 09:30-10:45 | 講義(応用編): 複合コーディネーションテストとその活用 | 講師; Dr.Polster |
| | 11:00-12:15 | 総括討論: 全体的質疑応答他 | |
| | 12:15-12:30 | 閉会 | |

コレスポ(ライプチヒスポーツ科学交流協会)は、ライプチヒ大学スポーツ科学部との交流協定にもとづき、毎年、2週間におよぶトレーニング科学国際集中講座in Leipzigを開催し、修了者数は計130名に達しました。昨年、コーディネーション理論に関連した講座を日本でという気運が熟し、第1回めを開催しましたが、大好評につき、第2回めの開催に至りました。

今第2回講座in Japanは、とくにコーディネーションやスピードなどの能力をコンディショニングとの関連性において、いかにパフォーマンス向上に結びつけてゆくべきか、その方法を探ることに主眼をおいています。「実践レポート」では、日本のいくつかの具体的な事例についての報告とコメントなどを予定しています。また、講義の応用編では、とくにDr. フォス氏からは、陸上競技を例に、パフォーマンスへの転換法を実際のトレーニング映像で説明していただく予定です。

さらに今講座をとおして、各地で取り組まれている「タレント発掘」やジュニア指導などにおける生物学的な観点(早熟・晩熟など)の重視の必要性についても認識していただければとおもいます。

去る6月、ライプチヒ大学において、これまでの集中講座in Leipzigなどの交流事業が評価され、所定の受験資格条件を満たし、その公認試験の合格者にたいして、「コーディネーション・トレーナー」のライセンスを交付することに決まりました。当資格の公認試験は、11月25日、講座開始前の午前中に行なわれます。今回は初めての試験実施のため、受験対象人数はコレスポ事務局の調整により、5名に制限します。また、受験資格の条件は、今回については「集中講座in Leipzig」と「集中講座in Japan」の両講座を修了し、一定のトレーニング指導経験がある人が対象です。当件について詳しくはコレスポにお問い合わせください。